

会議録（芳賀町学校運営協議会）

令和5年度 第7回芳賀町学校運営協議会会議録			
日 時	令和6年2月15日（木）18：00～20：00		
場 所	町民会館 多目的室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川浩司、岡田由美子、今井由佳、岩村智織、広田マリ子、中山このみ、水田晴美、 岩崎 進、荒井一浩、小山佳子、小林史貴、今西雅子、齋藤裕美、北條麻美、小林春華 （協議会委員出席15名）		
	[芳賀中学校]（校長）山本 守 （教頭）柳 利道 （地域連携教員）鶴見優希 [芳賀東小学校]（校長）大根田裕一（教頭）半田高代 （地域連携教員）高久 誠 [芳賀北小学校]（校長）高津健司 （教頭）國井明美 （地域連携教員）富士井慶 [芳賀南小学校]（校長）生井克成 （教頭）関本恵美子（地域連携教員）那花和哲		
	[教育委員会事務局] （生涯学習課長）仲尾 周（生涯学習係長）大岡久美子（生涯学習課主査）小林春彦 （社会教育指導員）柳岡敦子 （生涯学習係主事）片桐綾乃		
	司 会	小林春彦 （議事進行）稲川浩司会長	書 記
概 要	1 開 会 2 あいさつ 3 協議事項（進行：稲川会長） （1）本日の協議事項と流れについて説明（事務局） （2）分科会 ①学校関係者評価（各学校） ②課題解決のための栄光のスタートスケジュール作成 （3）共有（各学校から栄光のスケジュールの発表） 4 振り返り 5 その他、諸連絡 6 閉会		
1 開 会 2 あいさつ 3 協議事項（進行：稲川会長） （1）本日の協議事項と流れについて説明（事務局） （2）分科会 ①学校関係者評価（各学校） ②課題解決のための栄光のスタートスケジュール作成 （3）共有（各学校から栄光のスケジュールの発表） 【芳賀東小学校】 稲川会長： ◆課題 学校農園の利用の仕方について 先生の負担になってしまっているのではないかと、子どもたちにももっと体験をさ			

せたい。

◆栄光のスタートスケジュール 別紙参照。

◆教育委員会への意見

コロナが明けて教職員の研修が以前のように相当増えているのが先生の負担になっている部分もある。(学校関係者評価より)

再度、教職員への参加体制についてやるかやらないかだけでなく、オンラインに変更するなど検討して欲しい。先生が子どもたちと向き合う時間を増やしてほしい。

【芳賀北小】

富士井教諭： ◆課題

①行事について

- ・親子給食び復活（親子学び合い事業の日など）
- ・はがまるふるさと学校の継続

②顔の見える関係（先生、学運協委員、ボランティアなど）

③何か一つ北小のみんなで作り上げる、目指せるようなことに挑戦したい

◆栄光のスタートスケジュール 別紙参照。

【芳賀南小学校】

那花教諭： ◆課題 ボランティアを増やそう！

◆栄光のスタートスケジュール 別紙参照。

【芳賀中学校】

鶴見教諭： ◆課題 大人との触れ合いを増やす（委員会活動）

給食委員会で生産者へインタビューしに行った様子を動画に撮り、給食の時間に流した。生産者の声を実際に聴くことが出来た。地域の清掃活動にも参加。他の委員会でも地域とのつながりを増やしたい。

安全・防犯について、危険個所の洗い出しなどを行っているので、交通安全委員会が自治会の話し合いなどに参加して意見を伝える、公式LINEの活用で迅速な連絡ができないか。ルリちゃんメールだとタイムラグができてしまう。

◆栄光のスタートスケジュール 別紙参照。

◆教育委員会への意見 【芳賀東小】教職員の研修について参加形態の検討ができないか。

高津校長： 教育委員会への意見というのは、学校長の学校経営方針をより良くしていくための意見。学校経営方針に則った形で、その研修について意見をするのであれば学校運営協議会からの意見とすることができるが、研修は校長が職員のレベルアップを狙って勧めているもの。一概に研修を減らすという意見は校長の意図としていかななものか。慎重に扱っていただきたい。

稲川会長： もちろん分科会の中でもそういった意見は出ており、もちろんただ研修を減らしてほしいという意見ではない。研修によってはオンラインやペーパーのみで済むものもあるのではないかな。そういった研修への参加方法も検討して欲しいという意見。芳賀町教育委員会で主催している研修ばかりではないと思うので、対応できたとしてもごく限られたものになってしまうかもしれないとは認識している。

高津校長： 先生の負担減などの話ではなく、学校運営協議会で扱うべき意見として、そもそもの

議論がずれているのではないか。

稲川会長： 働き方改革の中で、もちろん先生の負担減という側面もあるが、学校運営協議会委員として、先生方に子どもたちと向き合う時間を少しでも増やしてほしいというところで、研修への参加方法などの検討の余地があるのではないかという意見。

岩崎委員： 研修ではなく、出張について。

事務局： ※協議会は対象学校の運営全般について、教育委員会又は対象学校長に対して意見を述べることができる

岩村委員： 出張や研修は学校の年間スケジュールで決められていることだし、内情が分からない状態では、出張がなくなることによって子どもとの時間が増えるとも言い切れないと思う。

事務局： ※協議会は前項の規定により、教育委員会に対して意見を述べるときはあらかじめ対象学校の校長の意見を聴取するものとする。

稲川会長： 会議時間も限られており、今回は研修会となってしまうので、今年度の意見としては取り扱わず、教育委員会への意見は次年度に改めて検討していくということにする。その他に意見があれば。

岩村委員： 学校運営協議会が教育委員会に意見を述べるができることとあるが、実際に教育委員会で何ができるかというのをもう少し明確に教えてほしい。教育委員会について全然わからないので、具体的な例などがないと学校運営協議会からは意見を出しにくい。意見を出したら出したで反発される。

高津校長： 「出張」は校長から教員への采配、命令なので、教育委員会は関係ない。

過去に教育委員会へボランティアコーディネーターを各学校に配置してほしいと意見した。芳賀教育事務所の研修会へ参加してもらい、現在各学校に1名ずつコーディネーターが配置されている。実際の学校の困りごとに寄り添った形で意見を出して、教育委員会で施策に反映させた形になっている。前事務局として言うと、校長が考える学校に必要なことや学校と地域で連携していきたい形を話し合う場が協議会である。ただ単に運営について意見するのではなく、子どもたちや学校のために学校運営協議会で出来ることを教育委員会に提案すると考えてほしい。

4 振り返り（会長）

今日の話し合いを経て実現へと一歩進んだのではないか。ざっくばらんな意見交換の場が増えればよい。

5 その他

【学校運営協議会研修会について】

日 時：令和6年3月16日（土）午後2時から午後4時まで

場 所：芳賀町民会館 多目的室

講 師：廣瀬 隆人 氏

テーマ「子どもと大人でつながる～学校を核とした地域づくり～」

6 閉会